

高等学校におけるジェンダーフリーを目指した授業の試みー(3)

1年生を対象としたジェンダーフリー関連特設講座5年間の授業実践報告

菊池 美千世
田中 京子

高等学校におけるジェンダーフリーを目指した新しい科目の可能性を探るため、1年生を対象とする特設講座を1996年度から開講してきたが、新課程・週5日制への移行に伴い、1年生の特設講座は2000年度で終了した。そこで、5年間の授業の総括をしたい。

特設講座とは、既存の教科・科目にあてはまらない内容について、教材開発をねらいとした実験的な科目を複数設置するもので、生徒は希望する講座を選択して履修する。年度によって開講される講座数も内容も異なり、受講する生徒の人数や傾向も区々であった。

1996年度「女性学」と1997年度「ジェンダーフリーを学ぶ」の授業に関しては、本校研究紀要第42号、第43号で、「高等学校におけるジェンダーフリーを目指した授業の試みー(1)」「同一(2)」として、すでに報告した。今回は、1998年度から2000年度を中心にまとめる。

1996年度 「女性学」 担当：菊池・田中 受講生徒13名

本校研究紀要第42号「高等学校におけるジェンダーフリーを目指した授業の試みー(1)」を参照されたい。

1997年度 「生活の中の女性学」 担当：田中 受講生徒 9名

「ジェンダーフリーを学ぶ」 担当：菊池 受講生徒13名

本校研究紀要第43号「高等学校におけるジェンダーフリーを目指した授業の試みー(2)」を参照されたい。

1998年度 「ジェンダーフリーを学ぶA」 担当：菊池 受講生徒13名

「ジェンダーフリーを学ぶB」 担当：田中 受講生徒13名

「ジェンダーフリーを学ぶC」 担当：増田・三浦 受講生徒5名

より多くの生徒にジェンダーフリーについて学んで欲しいと考え、「ジェンダーフリーを学ぶ」講座を3講座開講することとした。担当教官の専門分野に応じてA～Cの内容は異なり、生徒はそれぞれの学びたいことに近い講座を選択した。地理・歴史科の菊池が担当するAは、前年度の「ジェンダーフリーを学ぶ」の内容に近く、国際比較や社会的な内容が多く盛り込ま

れた。家庭科の田中が担当するBは、前年度の「生活の中の女性学」を踏襲して、身近な生活の視点を大切に家庭と社会の関連から考えていく内容となった。保健体育科の増田・三浦が担当したCは、セクシュアリティを重点的に考える構成で行なわれた。Cについては、本校研究紀要第44号に第6回公開教育研究会報告、特設講座「ジェンダーフリーを学ぶC」—Sexual Equalityを考える—により詳しい報告があるので参照されたい。

1999年度 「ジェンダーフリーを学ぶ ABC」 担当：菊池・田中・増田 受講生徒14名

前年度同様、3講座の開講を目指したが、単独で開講するには希望者が少ない講座があったため、3講座を合わせて3人のチームティーチングで開講することとなった。結果的には3講座それぞれの特色を活かして内容が多角化し、充実した授業を行なうことができた。また、この年から2年生を対象とした「ジェンダーフリーを学ぶII」も開講された。「ジェンダーフリーを学ぶII」については、本紀要に「特設講座『ジェンダーフリーを学ぶII』3年間の授業実践報告」が掲載されているので、合わせてお読みいただきたい。

2000年度 「ジェンダーフリーを考える」 担当：菊池・田中 受講生徒7名

1年生を対象とした特設講座最後の年となった2000年度は、教官の開講希望も多く、多数の講座が設けられたため、受講希望者は減少し、菊池と田中のT.T.で1講座の開講となった。前年度を参考に内容の多角化・深化を目指した。高校入学以前に家庭・学校・マスコミなどからジェンダーに関する情報が多く入るようになったためか、受講者の意識が年度当初からかなり高かったのがこの年度の特徴で、1学期からかなり深い内容に進むことができた。

1年生を対象としたジェンダーフリー関連の特設講座を5年間開講してのまとめ

- ・進学・就職・結婚・出産と今後多くの選択を迫られる女性として、より広い進路選択の可能性のある高校生の段階で、ジェンダーフリーの視点から自分自身・家庭・学校・社会を見つめ直す機会を持つことは、非常に重要かつ有意義である。
- ・より多くの生徒にジェンダーフリーを考える機会をもって欲しいと願う一方、こうした生徒の意見交換を常とする授業形態では7～8人が適性規模と思われた。(10人を超えると多様な意見が出る反面、意見交換が不活発になり、異なる意見を戦わせながら互いを高め合うことが難しくなる。)
- ・多くの生徒にジェンダーの問題を考える機会を与えるためには、特設講座に加えて、既存の教科・科目でもジェンダーフリーの視点から授業を行なうことが必要である。
- ・小人数の授業の欠点として、社会の多様な意見に接することができないことがあげられる。そこで、施設見学、外部講師(卒業生、保護者、本校が附属する大学の教官・院生などを含む)の依頼、アンケートやインタビューなど、積極的に外に働きかけることが必要となる。
- ・生徒のスピーチや個人・グループ研究の発表などで生徒の視点から提起された問題は、多様かつ生徒により身近で、教師が選んだ教材だけでは得られない広がりや授業に与えることができる。

- ・女性のライフコースとジェンダーの問題は切り離せないが、1年生の知識・感覚・意識はまだ幼く、授業で扱える内容には限りがあると感じた。発達段階を考慮して、2・3年生でも行なうことができれば、一段と内容・思考を深めることができよう。
- ・ジェンダーフリー関連の特設講座の内容・手法は、「総合的な学習の時間」にも応用できるものと思われる。

1996年度 「女性学」 受講者13名 菊池・田中

回	月	日	内 容	備 考
1	4	15	ガイダンス 作文「女性学の講座で学びたいこと」	
2		22	自己紹介 学習計画の説明と、内容・進め方に関する話し合い	
3	5	13	女性に生まれて 討議「女は損か」	
4		20	気付かない差別 討議「学校における隠れたカリキュラムなどについて」 今、なぜ、女性学か	
5	6	3	恋愛と結婚① 討議「女性にとっての結婚の意味」	
6		10	女性と生活設計	
7		17	恋愛と結婚② 女性の一生を見つめ直す	
8		24		
9	7	1	夏休みの課題に向けて テーマを挙げる・グループづくり・グループ毎の テーマ決定	
10		8	グループ毎に研究課題の内容と計画を作成、検討	
11		15	東京都ウィメンズプラザの見学・資料収集	施設見学
12	9	9	夏休み課題発表①	
13		30	夏休み課題発表② 女性学を半年学んでの感想	
14	10	7	女性差別の構造についての資料3種 要旨・感想のまとめ	
15		14	女性差別の構造についての講義 3種の文献を通じての感想	
16		28	日本と諸外国の女性の現状の理解・比較考察	
17	11	11	「平等への道」の解説・考察 生徒のまとめ	
18		16	公開教育研究会で授業公開	授業公開
19		18	日本と諸外国の女性の現状についての感想をまとめる	
20		25	女性の美しさとは何か 討議「足と靴を題材として」	
21	12	2	冬休み課題（個人研究）準備	
22	1	13	冬休み課題の発表準備	
23		20		
24		27		
25	2	3	冬休み課題（個人研究）の発表	
26		10		
27		24	1年間のまとめ	

1997年度 「ジェンダーフリーを学ぶ」 受講者 13名 菊池

回	月	日	内 容	備 考
1	4	17	作文「ジェンダーフリーを学ぶにあたって」 PRアンケート集計とその感想	
2		24	自己紹介（学びたいこと・今までに気付いたり感じたりした差別の発表を含む） 講座の学習計画の説明と、内容・進め方に関する話し合い	
3	5	22	「ジェンダー」とは？ 「女らしさ・男らしさ」について調べたこと・考えたことの発表	
4		29	「らしさ」の課題のまとめ 女性と男性では期待（要求）される生き方が違うのか？	
5	6	5	性役割についての解説 『父よ！』の感想 女性であることの是非の発表	
6				
7		12	「ジェンダーチェック」「保護者があなたに望むこと」	
8		19	「女は昔から主婦だったのか」（『21世紀家族へ』より）	
9	7	3	結婚・出産・育児と仕事を両立する場合の障害・問題とその解決方法についての話し合い	
10		10	アメリカの大学で教育とジェンダーの研究をしている卒業生のお話 夏休み課題アンケートの作成	外部講師のお話
11	9	4	夏休み課題アンケートをやってみて考えた事の発表	
12		11	夏休み課題アンケートの集計	
13		25	高校生演劇『男でしょ！』のビデオ鑑賞と意見・感想の発表	ビデオ視聴
14	10	2	夏休み課題アンケート集計結果についての意見・感想の発表	
15		9	「女性の権利の歴史」（『共生時代の憲法』より）を読んで	
16		23	「経済的自立に向けて」（『女性が働く社会』より）を読んで中間まとめ	
17	11	6	今後の授業についての話し合い	
18		13	足と靴から見た女性 シンデレラ・纏足・『自分の足を取りもどす』から考える	
19		20	ディベートのテーマ決定とグループ分け ディベート準備	
20		27	「女性が活躍できる国」（『女たちのスウェーデン』より）を読んで 冬休み個人研究について	
21	1	22	ディベート「3歳までは子供は母親の手で育てるべきか」	ディベート
22		29	ディベート「高校は共学であるべきか」 冬休み個人研究発表①	ディベート
23	2	5	1年間育児休暇を取得した都立高校男性教員をお招きして	外部講師
24		19	冬休み個人研究発表	
25		26	冬休み個人研究③ 1年間のまとめ	

1997年度 「生活の中の女性学」 受講者9名 田中

回	月	日	内 容	備 考
1	4	17	女性学を学ぶにあたって 自己紹介・作文・話し合い	
2		24	日常生活での男女の違い これまでの各自の経験をもとにした話し合い ジェンダーとはなにか	
3	5	22	男女平等を考える 男子校・女子校は存在すべきか 女性保護撤廃のもたらすもの	
4		29	お嫁にゆくこと…家族のなかの女性 セクハラを考える	
5	6	5	女性の職業 従軍慰安婦について	
6		12	「ジェンダーチェック」学校のジェンダー	
7		19	「女は昔から主婦だったのか」(「21世紀家族へ」より)	
8	7	3	教育実習生(ジェンダー研究センター所属)の話 「絵本、昔話のなかのジェンダー」	教育実習生の参加
9		10	教育実習生を囲んで 就職活動とジェンダー 女性と職業 夏休みの課題について	教育実習生の参加
10	9	4	夏休み課題インタビューの発表	
11		11	夏休み課題インタビューの発表	
12		25	女子校を考える	
13	10	2	高校生演劇「男でしょ」のビデオ観賞と討論	ビデオ視聴
14		9	「高学歴時代の女性」一着実に変わっていく女性たち— 資料に基づく討論	
15		23	「女性の権利の歴史」を読んで	
16	11	6	教育実習生を囲んで「女子大の長所は？」	教育実習生の参加
17		13	ダイバートのテーマ決定と準備	
18		20	ダイバート「レースクイーンなど女性であることを売り物 にする職業はあっていいか？」	ダイバート
19		27	ダイバートに基づく話し合い	
20	1	22	冬休みの課題インタビュー発表	
21		29	冬休みの課題インタビュー発表	
22	2	5	1年間育児休業を取得した都立高校男性教員のお話	外部講師
23		19	講演に基づく話し合い	
24		26	1年をふりかえって	

1998年度 「ジェンダーフリーを学ぶA」 受講者13名 菊池

回	月	日	内 容	備 考
1	4	10	自己紹介 PRアンケート集計とその感想	
2		18	作文「ジェンダーフリーを学ぶAの受講にあたって」 講座の学習計画の説明 ジェンダーチェック	
3	5	2	「ジェンダー」とは? 「女らしさ・男らしさ」について調べたこと・考えたことの発表	
4		16	「保護者があなたに望むこと」の発表 性差の再生産『女性のデータブック』より	
5	6	6	「女性の権利の歴史」(『共生』時代の憲法)より)を読んで	
6		20	足と靴から見た女性 シンデレラ・纏足・『自分の足を取りもどす』から考える 田嶋陽子氏のビデオ『ようこそ先輩』 夏休み課題説明 1学期のまとめ(課題として)	
7	7	4	東京都ウィメンズプラザの見学・資料収集	施設見学
8	9	5	夏休み課題発表	
9		19	「経済的自立に向けて」(『女性が働く社会』より)を読んで	
10	10	17	「女は昔から主婦だったのか」(『21世紀家族へ』より)	
11	11	7	高校生演劇『男でしょ!』のビデオと「少し立ちどまって、男たち」の意見・感想の発表	ビデオ視聴
12		13	「女性が活躍できる国」(『女たちのスウェーデン』より)	
13		21	夫婦の家事分担に関する新聞記事について討論 冬休み課題説明	
14	1	30	冬休み課題発表①	
15	2	6	冬休み課題発表② エンパワーメントとアフターマティブアクションについて	
16		20	冬休み課題発表③ 1年間のまとめ	

1998年度 「ジェンダーフリーを学ぶB」 受講者13名 田中

回	月	日	内 容	備 考
1	4	18	学習にあたって 自己紹介・この講座で学びたいこと	
2	5	2	ジェンダーとは何か これまでのジェンダー体験	
3		16	家事はだれがする？	
4	6	6	「女は昔から主婦だったのか」(「21世紀家族へ」より) 家事と女性についての討論	
5		20	夏休みの課題についての話し合い これからの個人研究課題の決定 東京ウイメンズプラザで調べたいことを考える	
6	7	4	東京ウイメンズプラザの見学・資料収集	施設見学
7	9	5	教育実習生に聞く「大学生活、就職活動とジェンダー」	教育実習生の参加
8		19	女性労働の国際比較・資料に基づく討論	
9	10	17	北京短期派遣体験生徒の報告会 「北京ホームステイ・中国女性の生活と職業」	
10		31	「女たちのスウェーデン」を読む	
11	11	7	アジア女性の生活と労働・資料に基づく討論	
12		13	個人研究の中間報告と冬休みの研究計画	
13		21	個人研究の中間報告と冬休みの研究計画	
14	1	30	個人研究発表資料の準備	
15	2	6	個人研究発表	
16		20	個人研究発表と1年間のまとめ	

1998年度 「ジェンダーフリーを学ぶC」 受講者5名 三浦・増田

回	月	日	内 容	備 考
1	4	18	講座の学習計画の説明 自己紹介 スピーチ「この講座で学びたいこと」	
2	5	2	性差ってなに？ 1 「sex」と「gender」の違いに気づく ジェンダーチェック	
3		16	性差ってなに？ 2 いつ頃男女の差を意識し始めたのか、学校生活、家庭生活を振り返って分析してみる 「らしさ」から解放されて、「自分らしく生きる」ことについて考える	
4	6	6	愛と友情と恋の性差 恋愛にありがちなジェンダーバイアスについて考える	
5		20	田島陽子氏の自伝VTR視聴『ようこそ先輩「男と女・自分らしく生きる方法」』（NHKの放映より） 夏休み課題説明 1学期のまとめ（課題として）	ビデオ視聴
6	7	4	東京都ウィメンズプラザの見学・資料収集	施設見学
7	9	5	夏休み課題発表 妊娠と出産の生理	
8		19	妊娠と出産の生理 VTR視聴『生命誕生』（NHK出版）、『赤ちゃんこのすばらしき生命』（NHKの放映より）	ビデオ視聴
9	10	17	人工妊娠中絶とは1 VTR視聴『中絶』（一橋出版）、「優生保護法改正を考える」（NHKの放映より）中絶可能時期の短縮が女性にとってどのような意味を持つのかについて考える	ビデオ視聴
10		31	人工妊娠中絶と法律問題 「優生保護法」から「母体保護法」への変更事項について考える	
11	11	7	諸外国における人工妊娠中絶をめぐる問題 VTR視聴『北と南の女たち』 国家、宗教、経済事情に阻まれた女性の健康と権利について考える	ビデオ視聴
12		13	公開研究会発表授業 「人工妊娠中絶における男女の平等性～望まない妊娠を避けるために必要なこと～」	授業公開
13		21	避妊の方法と自己選択 冬休み課題説明	
14	1	30	冬休み課題発表	
15	2	6	性と社会の諸問題 性の商品化を考える	
16		20	フリートーキング 1年間のまとめ	

回	月	日	内 容	備 考
1	4	15	ガイダンス 自己紹介 作文「ジェンダーフリーを学ぶにあたって」	
2		22	PRアンケート集計とその分析、感想 ジェンダーチェック	
3	5	6	「つくられる女のコ」(『女性学への招待』より)について	
4		13	東京都ウィメンズプラザ作成のビデオ視聴 「女子と男子の学校生活」(『女性学への招待』より)	ビデオ視聴
		20	前回のビデオと文章資料についての討論	
		27	教育・仕事に関する統計資料(『女性のデータブック』より) 『父よ!』の感想	
5	6	3	課題「保護者があなたに望むこと」についての発表	
6		10	夏休み課題(グループ研究)に向けて	
7		17	足と靴から見た女性 シンデレラ・纏足・『自分の足を取りもどす』から考 える 田嶋陽子氏のビデオ『ようこそ先輩』	ビデオ視聴
8		19	女性の身体とジェンダー 夏休み課題準備	
9	7	8	「女性と家事」について 東京都ウィメンズプラザの見学・資料収集	施設見学
10	9	2	夏休み課題の発表準備	
11		16	夏休み課題の発表①	
12	10	7	夏休み課題の発表②	
13		21	性・性差について	
14	11	11	一橋大学社会学部4年の先輩のお話 「男らしさとは? 男性論への招 待」	外部講師の お話
15		18	「女性の権利の歴史」(『共生』時代の憲法)より)を読んで	
16		25	家族とその機能 変わるライフスタイル/ライフサイクル	
17	12	2	映画『ジョイ・ラック・クラブ』視聴 冬休み課題説明	映画視聴
18	1	13	冬休み課題の発表①	
19		20	冬休み課題の発表②	
20		27	「あなたが考えるジェンダーフリーとは」討論	
21	2	3	ディベートについて テーマ、班構成、準備	
22		10	ディベート「子どもが小さいうちは、母親が専業主婦で育てるべきだ」	ディベート
23		24	ディベート「夫婦は別姓であるべきだ」 ディベートを通して考えたこと 1年間のまとめ	ディベート

2000年度 「ジェンダーフリーを考える」 受講者 7名 菊池・田中

回	月	日	内 容	備 考
1	4	13	ガイダンス 自己紹介 PRアンケート集計 作文「ジェンダーフリーを学ぶにあたって」	
2		20	世界各地の女性の現状、日本との比較（ノルウェーの男女平等のテキストより）	
3		27	「女は昔から主婦だったか」（『21世紀家族へ』より）から働くことの意義を考える	
4	5	18	「つくられる女の子」（『女性学への招待』より）と、「らしさ」についての課題から、「らしさ」「性差」を考える	
5		25	『性差の科学』から抜粋した資料をもとにした講義	
6	6	1	性別役割分業についての討論	
7		8	『平成9年版国民生活白書』から抜粋した資料をもとに講義 性別役割分業についての討論の続き	
8		15	（スピーチと関連討議）	
9		22	『女性のデータブック』から女性と職業、性別役割分業についての統計資料抜粋 役割分業と自立、問題点	
10	7	4	夏休み課題説明 「女性と仕事の未来館」見学	施設見学
11		13	年金制度のしくみと問題点 1学期のまとめ	
12	9	7	夏休み課題の発表①	
13		14	夏休み課題の発表②	
14		21	夏休み課題の発表③	
15	10	5	家事と（収入をともなう）労働	
16		12	「女性が活躍できる国」（『女たちのスウェーデン』より）	
17		19	スウェーデンの政策について 『自分の足を取りもどす』から考える	
18	11	9	外部の人々へのインタビュー・アンケートの企画	
19		16	アンケート調査用紙作成	
20		30	冬休み課題「老若男女にインタビュー」説明 2学期のまとめ	
21	1	11	冬休み課題の発表①	
22		18	冬休み課題の発表②	
23		25	冬休み課題の発表③ アンケートについて 三歳児神話について①	
24	2	1	三歳児神話について②	
25		22	東京都ウィメンズプラザ作製ジェンダーフリーのビデオ視聴 アンケート集計	ビデオ視聴
26	3	1	アンケート集計 1年間のまとめ	